

市長会見の項目（概要）

と き：平成 31 年 4 月 18 日(木)14：00～

ところ：市政記者室

■ 阿倍野防災センター（愛称：あべのタスカル）の新たな体験学習内容が決まりました

<担当：消防局予防部予防課 電話：06-4393-6332>

【フリップあり】

- ◆大阪市立阿倍野防災センター（愛称：あべのタスカル）は、東日本大震災をはじめ近年発生した災害の教訓や、南海トラフ巨大地震への備えなどについて学べるよう、これまでの展示内容を最新の技術を使って一新し、平成 31 年 4 月 27 日（土）にオープンする。
- ◆「防災を自分自身の問題としてとらえ、具体的な防災行動につながる体験型学習施設へ」をコンセプトとし、「自分で選べる」・「地域特性に応じた」・「被災時の防災行動に直結する」体験学習ができる市民防災啓発施設をめざす。
- ◆この度、新しくなった防災体験学習のうち主な 5 つの内容を紹介する。
- ◆「おおさか防災情報ステーション」では、
防災センターのシンボルとして、入口正面にある直径 3 メートルの市域円形スクリーンで、大阪市全地域の被害想定を知ることができ、備付けの端末では、市内 24 区それぞれの地域特性による災害危険を学ぶことができる。
- ◆「タスカルシアター」では、
高さ 6 メートルを超える巨大スクリーンが、大阪市内で発生が予想される大災害を迫力のある映像で伝え、自分や家族、住む地域にどのような影響があるかを知ること、災害に対する意識を高める。シアターでの上映内容は「直下型地震編」、「南海トラフ巨大地震編」、「中学生以下向け編」の 3 種類である。
- ◆「津波避難を学ぶ」では、
津波によって建物が浸水していく様子をプロジェクションマッピングで表現し、南海トラフ巨大地震発生時の大阪市の予想津波高を実寸大で体感することで、津波の怖さと早期避難の大切さを学ぶことができる。
- ◆「備えを学ぶ」では、
体験コース終了後、振り返り学習として、家庭内の防火・防災対策や 119 番通報、エレベーターに閉じ込められた時の対応など、日常からの「備え」を学ぶことができる。
- ◆「キッズしょうぼうパーク」では、
阿倍野防災センターマスコットキャラクター「レスキューパンダたすける」を使った防災ダンスや防災クイズなどで、親子連れや未就学児も楽しみながら防災を学ぶことができる。
- ◆これらを含めて全部で 13 種類の防災体験学習ができる。

【次頁あり】

- ◆通常、防災体験学習は5つのコースを選ぶことができるが、平成31年4月27日から5月6日までのゴールデンウィーク期間中は、一人でも多くの方々に防災体験を学習していただけるよう、所要時間約30分のコースのみ実施する。
- ◆また、期間中、毎日、先着100名の小学生以下のお子様を対象に「レスキューパンダたすける」マグカップをプレゼントする。
- ◆防災センター「あべのタスカル」で、体験を通して正しい防災知識を身につけ、自分自身が「助けられる人」から「助ける人」へなっていただきたい。みなさんのお越しをお待ちしている。